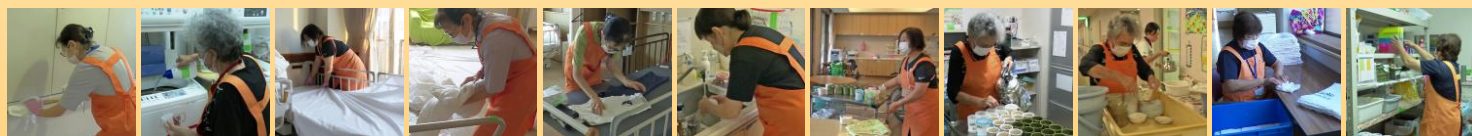
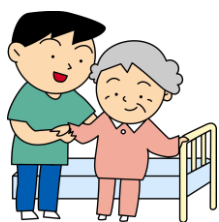


介護の現場に介護助手を導入してみませんか？

皆さんの介護現場では「介護助手」を導入していますか？
「介護助手」は、介護職員をサポートする人で、利用者の身体に直接触れることのない周辺業務を行います。
その担い手は「元気な高齢者」です。



掃除、洗濯、シーツ交換、配膳、下膳、食器洗い、お茶の準備、清拭巻き、備品の補充など、このような周辺業務を介護職員が担当していませんか？



「介護助手」の導入は、介護の質を高め、離職率低下にも繋がる！

「介護助手」の導入により、介護職員はさまざまな周辺業務をお任せできるので、時間的にも精神的にも余裕が生まれ、本来の介護業務に専念することができるようになります。
また時間外労働を減らすことができるので、離職率の低下にも繋がります。



「介護助手」の担い手は、元気な高齢者の皆さま！

「介護助手」の担い手は、「元気な高齢者」の皆さま。
高齢者が無理なく続けられる仕事内容とシフトにすることで長期間働いてもらうことができます。
また社会貢献の意識は生きがいにも繋がります。



「介護助手」の導入は、経営を圧迫しない！

「介護助手」の導入は、その分の人件費が増え、経営を圧迫するのでは？と思いがちですが、一方で介護職員の時間外労働やパートタイム職員の労働時間を減らすことができるので、収支は現在とほとんど変わらないというデータもあります。

「介護助手」の導入を分かりやすく解説した動画ができました。ぜひご覧ください！

「介護助手」が介護現場の人材不足を救う！
～介護助手導入プロセスと活用のメリット～



YouTube
公式チャンネル